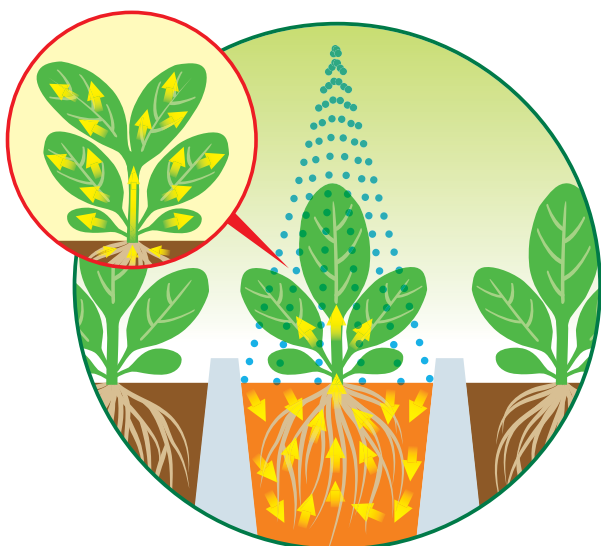


プレバソン®フロアブル5 上手な使い方 (灌注処理編)

プレバソン®フロアブル5のセルトレイ灌注処理は、定植前の手軽な作業で薬剤処理ができ、定植後に本圃で約4週間の殺虫効果が期待できる新技術です。セルトレイ灌注は、ジョウロなどを使って短時間でできる簡単な処理方法ですが、通常の茎葉散布処理とは効果発揮のメカニズムが異なります。灌注処理のポイントを理解し、正しく処理をすることで、プレバソン®の効果を最大限に実感していただけます。今回は、はじめて灌注処理をお試しされる方でも上手に処理ができる、灌注処理のポイントをご紹介します。

1 根から吸収させる

プレバソン®のセルトレイ灌注は、作物の根が薬液を吸収することにより、作物全体に有効成分が行き渡り殺虫効果を発揮します。作物の根元に薬液が十分に行き渡るよう、セルトレイの端までムラなく丁寧に処理してください。



2 展着剤は入れない

セルトレイ灌注では、苗の葉や茎に薬液が付着する必要はありません。だから、薬液の作物付着を助ける展着剤は必要ありません。(茎葉散布処理の際は必ず展着剤を加用してください)

3 定植3日前～前日に処理

定植後の本圃で長く効果を発揮するためには、定植3日前～前日の処理をお薦めします。

4 健全な苗をつくる

根部の生育が良好な苗、病虫害被害のない健全な苗は薬液の吸収が良くプレバソン®灌注処理の効果が安定します。適切な育苗管理を心がけましょう。



ジョウロ



ハスロノズル

デュポン株式会社 農業製品事業部

お問い合わせは、デュポン農業製品情報センターへお願いします。

FAX 03-3549-1819 e-mail news@dupont-info.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 3-7-10 JS 築地ビル 5F

※情報提供の目的で弊社よりダイレクトメールを送付しております。ご不要の場合はお手数ですがデュポン農業製品情報センターまでご一報ください。



The miracles of science®